

061 江戸時代 江戸幕府の成立



- 1593 実子 豊臣秀頼 生まれる。
 1595 関白 豊臣秀次 切腹事件(28歳)
 1598 太閤豊臣秀吉死去。秀頼6歳。

①豊臣政権内部で五大老の主導権争い。

- 1599 大老 前田利家 死去。
 1599 大老 上杉景勝、隣国最上と国境紛争
 ...大名間の私戦を禁じた 惣無事令 違反。

- 1600 会津征伐 決定(総大将家康)
 1600 石田三成、大老・宇喜多秀家が反乱。
 豊臣軍、下野 小山 で三成討伐決定。
 豊臣軍が大坂に残した妻子、三成が人質。
 →細川 ガラシャ 自害。驚いて人質作戦中止。

- 1600 石田三成の誘いで 大老 毛利輝元 が
 反乱軍(西軍)の総大将を引き受ける。
 (関ヶ原とは大老どうしの主導権争い)

- 1600 関ヶ原の戦い (五大老家を着色)

西軍が反乱軍 自称豊臣軍	東軍は正規軍 豊臣軍
総大将 <u>毛利輝元</u>	総大将 <u>徳川家康</u>
<u>宇喜多秀家</u>	<u>前田利長</u>
石田三成	福島正則
<u>上杉景勝</u>	細川忠興
小西行長	加藤清正
<u>小早川秀秋</u> → <u>小早川秀秋</u>	

島津義弘は豊臣政権の命令で東軍に合流しようとしたが、やむを得ず西軍
 小早川は毛利の分家なので毛利と同じ行動。
 しかし秀秋は家康に恩義があった。

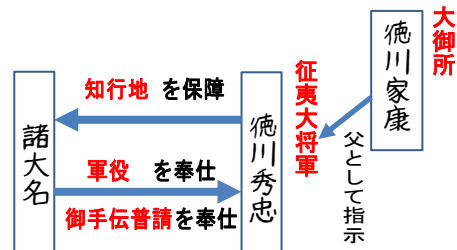
②豊臣政権による戦後処置

- 反乱軍の石田三成、小西行長は処刑。
- 宇喜多秀家は 改易 (知行地没収)
- 毛利輝元、上杉景勝は 減封 (知行地削減)
- 徳川家康は豊臣家臣のまま。

③徳川幕府の成立

- 1603 二月 後陽成 天皇の命により、
徳川家康、征夷大將軍 に就任。
 1603 七月 家康の孫 千姫 と秀頼が政略結婚
 (豊臣秀吉の遺命を家康が守った)

- 1605 徳川秀忠 が徳川2代將軍に就任。
 あ 徳川家康は 大御所 となる。
 ※源頼朝以来、主従関係は個人関係。
 い 家康個人は豊臣秀頼と主従関係を継続。
 う 徳川秀忠は豊臣秀頼と主従だったことがない。
 え 將軍徳川秀忠、諸大名に 領知行状
 を発行し知行地を保障、主従関係を結ぶ。



- 1614 方広寺 鐘銘事件 (国家安康、君臣豊楽)
 豊臣秀頼、片桐勝元を追放、領地没収。
 =將軍徳川秀忠への謀反。

- 1615 大坂の陣 (冬の陣、夏の陣)
 あ 秀頼、諸大名に呼びかけ→1人も集まらず。
 ※大名の知行地を保障してくれている主君は
徳川秀忠 であって秀頼ではないから。
 い 秀頼、浪人10万人を雇用(真田幸村など)
 1615 6月 浪人の反対 で戦いをやめられ
 ないまま大坂城落城。※ 千姫 は救出。

④言うことを聞かなかった豊臣家の滅亡直後に実現

- 1615 6月 一国一城令 発布
 1615 7月 武家諸法度 発布(伏見城)
 (京都五山の 以心崇伝 起草)
 1615 7月 禁中並公家諸法度 発布